# 取扱説明書

## 【初めに必ずお読み下さい】

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
※取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。
※開封後すぐ、取り付け作業前に、必ず内容部品の破損、部品表にて梱包物の数量等を確認して下さい。

| 安全に関する表示 | |
|---|---|
| 警告 | 指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの。 |
| 注意 | 指示に従わない場合、傷害に至る可能性物的損害の発生が想定されるもの。 |
| 高温注意 | 表記の注意を告げる物です。 |

| | |
|---|---|
| 警告 | ● 本製品は、適応車両、目的用途以外の使い方で使用しないで下さい。サーキット走行やジムカーナなどでの使用は想定しておりません。<br>● 本製品の取り付けは、整備資格のある方、または車両整備の基礎知識と経験のある方が行って下さい。取り扱い不注意、取り付け不良、誤使用などによる破損や事故に対して弊社は責任を負いませんのでご了承下さい。<br>● 本説明書は、車両のサービスマニュアルに載っている内容は割愛し、車両整備の基礎知識と経験のある方を対象に編集、解説しております。取り付けに不明点がある場合、不確実な作業は事故、破損の原因になるのでお止め下さい。<br>● エンジン始動時には騒音や発火、排気ガスでの中毒や汚染など、ご自身や周囲への安全の確保と、周辺へのマナーと配慮を心掛けて下さい。<br>● 車両への乗車前には、日常的に整備、点検を実施し、車両の各部や取り付け部品とその周辺に異常や破損、劣化が無い事を確認して使用して下さい。 |
| 注意 | ● 車両整備に関する詳細は、車両のサービスマニュアルを参照して下さい。<br>● 他社製品との同時使用による、組み合わせや取り付け相性、機能、性能などは未確認です。<br>● 車体への改造や、転倒歴のある車両には取り付けできない場合が有ります。<br>● 製品の開梱時や製品の取り扱い時には、部品の端部や突起、バリなどがある場合があります。作業の際は保護手袋を使用するなど十分に注意して下さい。<br>● 耐熱黒塗装は素材が鉄製の場合、将来にわたって保護効果を保証するものではありません。経年劣化、塩分・薬剤の付着、急激な熱入れ等、場合よっては錆、腐食が発生することがあります。錆、腐食等を発見した場合はタッチアップを推奨します。 |
| 高温注意 | ● マフラーは、非常に高温になります。作業を行う際は、必ずエンジン、マフラーなど各部が冷えた状態を確認してから作業してください。接触によるやけどや、衣服、可燃物などに注意して下さい。 |

## 新規マフラー取り付け後の始動時の注意・表面処理の種類別

- エンジン始動前にはパイプ部分が汚れていないか十分に確認してからエンジンを始動させて下さい。ムラやシミの原因になります。
- またサイレンサーエンブレムに保護フィルムが付いている場合は、フィルムを剥がしてから始動して下さい。剥がさないとフィルムが焦げ付きます。
- エンジン始動後は、吸音材の慣らしのため 15 分程度は慣らし運転を行って下さい。この時、白い排気ガスが出ることや、サイレンサー下部の水抜き穴から水蒸気等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。

### 黒塗装の場合

- 有機溶剤系での脱脂を行なわないでください。塗装を痛め、剥がれや溶解の原因となる恐れがあります。
- 汚れが付着した場合は中性洗剤で洗って下さい。
- エンジン始動後はいきなり高回転まで回さず、塗装の定着を目的にアイドリングで暖機運転を行って下さい。
- 急激に熱を加えますと塗装内の揮発成分が沸騰し、気泡状の膨れや、割れ、剥がれの原因となります。
- 始動直後はマフラー表面より白煙が上がりますが、これは塗料がマフラーに定着する際に発生するもので、塗料が完全に定着するまで（白煙が上がらなくなるまで）５分～１０分程度（季節、気温による）、熱を加えその後、一度自然冷却して下さい。
- この後の走行も 50km 程度までは慣らし運転を行って下さい。

### メッキの場合

- マフラーに錆のような黄褐色のシミが付いている事がありますが、これは錆ではなくメッキ処理をする際の薬品の残りです。製品出荷時に十分管理しておりますが、万が一このメッキ液が付いている場合は市販のパーツクリーナー等で洗浄してご使用下さい。

### ステンレス、チタンの場合

- エンジン始動前にマフラー表面を十分に脱脂して下さい。（ガソリン・灯油は不可）汚れが焼き付き、取れなくなります。
- 走行後のマフラーに付いた油分や汚れは市販のパーツクリーナー等を使用して取り除いて下さい。研磨による除去は表面にムラを発生させる原因となりますのでご注意して下さい。
- 素材の地肌をそのまま使用した製品です。素材の特性上、排気ガスにより高温になる部分には焼け色が発生します。

## アルミの場合

- モンスターサイレンサーなど一部のアルミ製品は、アルミ本来の風合いを楽しんで頂く為に表面に研磨加工以外のメッキ、コーティング処理をしておりません。適切にメンテナンスをすることでアルミ本来の風合いを保つことが出来ます。
- 土や鳥の糞、虫などの汚れが付着した場合、中性洗剤で洗浄した後に、流水でよく洗い流し柔らかいウエスで拭き取って乾燥させて下さい。
- 油分が付着した場合、パーツクリーナー等をウエスに染み込ませ、優しく拭き取って下さい。
- サイレンサー内部に水分を貯めたままにしていると腐食の原因となる場合があります。できるだけ短距離走行は避け、サイレンサー内部を乾かすようにして下さい。
- 表面に軽い腐食がみられる場合、3M 社製、スコッチブライト（800 番相当）の研磨パッド等などを使用し、研磨目に沿って磨いてください。軽い傷を消す事も出来ます。
- アルミ素材のため酸化・接触・電食等による腐食や、見た目の変化等の経年劣化は保障対象外となります。

## CFRP 素材サイレンサーエンドキャップについて

- 有機溶剤系での脱脂を行なわないでください。素材の変形や変色、クラック発生の原因となる恐れがあります。
- 汚れは中性洗剤で洗って下さい。油分が付着しているなど、汚れたまま走行しますと変色する事があります。
- 素材表面に色ムラがありますが、これは素材特有の物であり機能等に影響するものではありません。予めご了承下さい。

## サイレンサーのお手入れ

- 汚れは中性洗剤で洗って下さい。油分が付着しているなど、汚れたまま走行しますと変色する事があります。
- シンナーや有機溶剤はエンブレムの塗装を侵しますので使用しないで下さい。
- 吸音材、消音機構部材は使用環境や走行状況により耐久性が異なります。ご使用の際は出来る限り短時間のエンジン始動を避け、始動の熱でマフラー内部に溜まった水分を蒸発させるよう心掛けて下さい。

## マフラーのセッティングについて

- モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態で性能が発揮されるように設計されています。
  したがってマフラー装着にともなうインジェクションなどのセッティングの必要はありません。
- マフラー交換に伴う性能悪化が見られる場合は、まずエアクリーナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

## ＪＭＣＡについて

全国二輪車用品連合会（ＪＭＣＡ）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導のもと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。
「ＪＭＣＡ認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輌検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、 安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

## メンテナンスについて

マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。
走行による汚れは、市販の中性洗剤等をご使用下さい。
車検の際は、付属の「排出ガス試験結果証明書」または「純正触媒使用確認書」が必要となりますので持参してください。

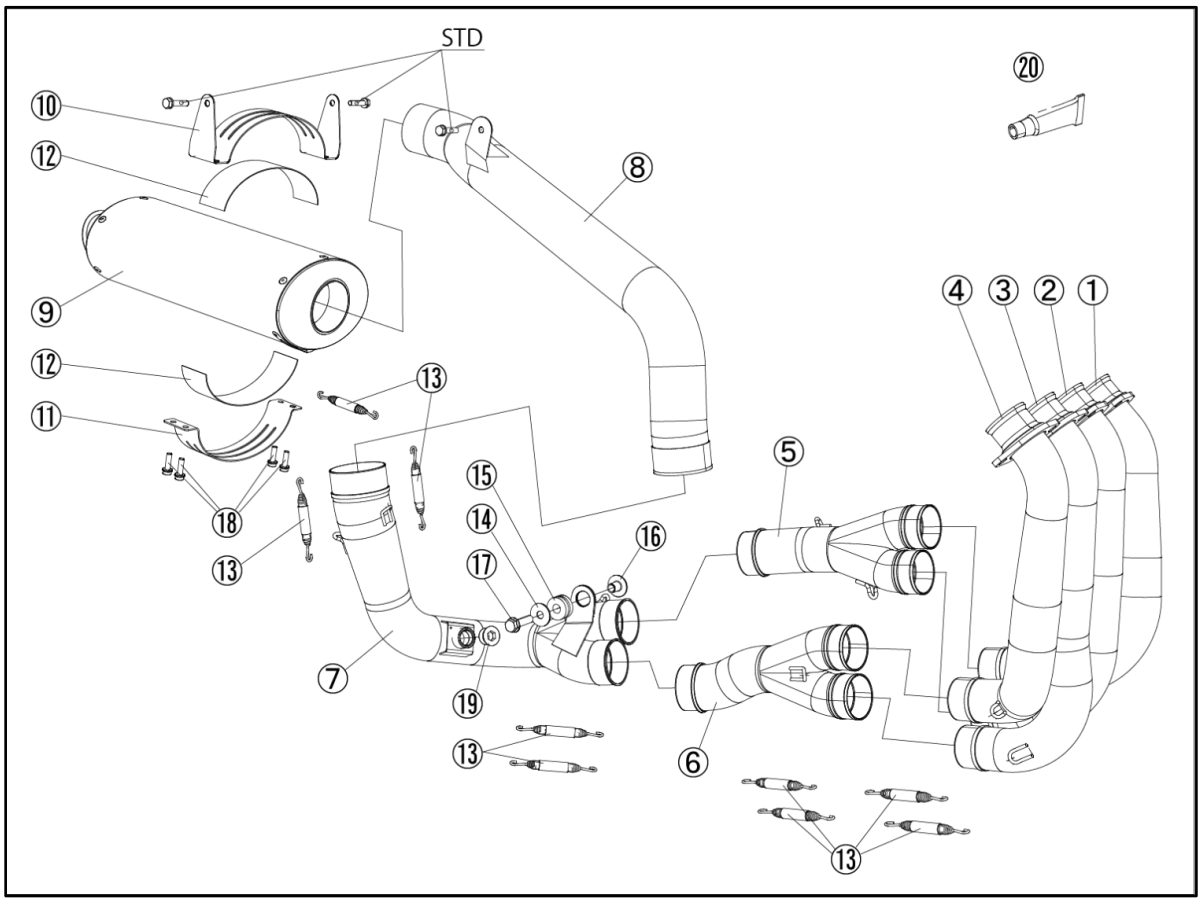
本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。
本説明書は、製品の譲渡時には部品と同様に、お渡し引継ぎください。
製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。
記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。

株式会社モリワキエンジニアリング
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5
Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152
WEBSITE　https://www.moriwaki.co.jp
お問い合わせ先：info@moriwaki.co.jp

MORIWAKI
MORIWAKI RACING

# HONDA '21- CBR600RR ZERO RACING Ti

## Part No. 01810-J31U2-00




図中表記の「STD」とはHONDA純正部品を意味します。

【Parts List】

| No. | Part No. | Description | QTY | No. | Part No. | Description | QTY |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 18110-J31U2-00 | FRONT PIPE #1 | 1 | 11 | 18932-J31U2-00 | BAND, SILENCER B | 1 |
| 2 | 18120-J31U2-00 | FRONT PIPE #2 | 1 | 12 | 18934-J31D4-00 | RUBBER, MUFFLER BAND | 2 |
| 3 | 18130-J31U2-00 | FRONT PIPE #3 | 1 | 13 | 0A02-08709-KK11 | SPRING, LONG | 9 |
| 4 | 18140-J31U2-00 | FRONT PIPE #4 | 1 | 14 | 030A-08251-5100 | WASHER, SPECIAL, 8x25 | 1 |
| 5 | 18210-J31U2-00 | F2 PIPE L-SIDE | 1 | 15 | 0312-17250-DR00 | RUBBER, MUFFLER MOUNTING | 1 |
| 6 | 18220-J31U2-00 | F2 PIPE R-SIDE | 1 | 16 | 0312-11250-F010 | COLLAR | 1 |
| 7 | 18310-J31U2-00 | F3 PIPE | 1 | 17 | 95801-0803000 | BOLT, 8x30 | 1 |
| 8 | 18410-J31L0-00 | TAIL PIPE | 1 | 18 | 1261-060200-410 | BOLT, FLANGE SOCKET, 6x20 | 4 |
| 9 | 18910-J31L0-00 | SILENCER COMP. | 1 | 19 | 974220-1812 | SCREW PLUGS | 1 |
| 10 | 18931-J31U2-00 | BAND, SILENCER A | 1 | 20 | 860-806-0600 | LIQUID GASKET(ME30) | 1 |

【製品仕様】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 製品名 | ZERO RACING | 特記事項 | レース専用部品(公道使用禁止)<br>HRC・Taleo・MB製ラジエター対応 |
| 適合機種 | HONDA CBR600RR '21 | | |
| 音量 | 105dB以下('21- ST600対応) | | |
| 商品重量 | 4.7 kg | | |

240625

| 注意事項 |
| --- |
| ① 本製品はレース専用製品のため一般公道での使用は出来ません。<br>② 本製品の取付け、調整等には、車両の整備経験と対象車両の整備マニュアル知識が必要です。<br>③ 本製品の取付けと、車両の状態は競技レギュレーションに準じルールを守って運用してください。<br>④ 走行時に部品の脱落などの事故が発生しないよう、各部の締付けを十分に確認して下さい。<br>⑤ 走行中の振動により、ボルト、ナット類が緩む事がありますので、必要に応じて増し締めを行って下さい。<br>⑥ 取付け後、排気漏れの確認などでエンジンを始動する場合、周囲の安全を確認し、通気のよい場所で行って下さい。また、音量は競技用で大きい為、近隣の住宅等の迷惑にならないようご注意下さい。<br>⑦ 車両にスイングアーム、ステップなどの変更がありますと装着出来ない場合があります。また、改造によるマフラー破損などの返品はお受けしておりませんので予めご了承下さい。<br>⑧ グラスウールの交換が必要になった場合は有償にて交換サービスをしておりますので、お問い合わせ下さい。 |

【準備物】

スパナまたは、メガネレンチ ８、１０、１２mm
ソケットレンチ ８、１０、１２mm
六角レンチ ４、５、６、８mm
プラスドライバー　スプリングプラー
作業グローブ　ウエス　脱脂洗浄剤

【純正部品の取外し】

① 梱包内容と部品構成図を照らし合わせ、部品の確認をします。

② サイドカウル、アンダーカウル、シートカウルを取外します。
**※部品の取外しは、純正のサービスマニュアルを参照して下さい。**

③ 右側ステップを取外します。
**※ステップなどはマフラー取付けの邪魔にならない位置に引っ掛けておいて下さい。**

④ ラジエターのボルトを取外し、ラジエターを少し前方にずらします。
**※このようにすると作業がスムーズに行えます。**

⑤ ＳＴＤマフラーのサイレンサーCOMP. を取外します。
**※ＳＴＤサイレンサーCOMP. が外れにくい場合があります。この場合は、ＳＴＤエキゾーストパイプが動く程度に緩めてから、サイレンサーCOMP. を取外して下さい。**

【製品の取付け】

① 各パイプの差込口に、付属の液体ガスケット（ＭＥ３０）を薄く塗布しておきます。

② 新品のエキゾーストガスケットに交換します。
**※付属していません。別途お買い求め下さい。**

③ エキゾーストパイプを仮組みした後、車体に仮止めします。
**※フロントパイプはＳＴＤのナットを使用します。ここではパイプが少し動く程度にしておきます。**

④ 付属のマフラースプリングを取付けます。

⑤　マフラーが各部と干渉していないか確認します。

⑥　本締めします。
順番は、エキゾーストフランジ →Ｆ３パイプステー　→テールパイプステー →サイレンサーバンド

⑦　再度、マフラーと各部が干渉していないか確認します。
**※フロントパイプ＃４とラジエターホースが近い場合、ナイロン結束バンド（タイラップ等）でホースを固定しクリアランスを確保してください。**

⑧　脱脂剤でマフラーの油分を拭取ります。
**※エンブレムにビニールが付いている場合は剥がします。**

⑨　ラジエターのボルト、右側ステップを取付けます。

⑩　サイドカウル、アンダーカウル、シートカウルを取付けます。

⑪　もう一度各部がマフラーと干渉していないか確認します。
**※干渉している場合は、再度取付けを行って下さい。**
**※干渉がない事を確認した後に、エンジンを始動して下さい。**

⑫　排気漏れを確認した場合はもう一度取付け直します。

**【メンテナンス】**

■　マフラー取付け後、各部のクリアランスを必ず確認してからエンジンを始動して下さい。
■　マフラー取付け後、エンジンを始動した時に白い煙が出ますが、性能上問題ありません。
■　マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取付け不良などを定期的に点検して下さい。また、走行による汚れは、市販のピッチクリーナーなどをご利用下さい。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス、単品部品の発注等に活用して下さい。
製品上の問題点、取付け時の不明点などありましたら、お電話にてお問合せ下さい。
記載内容、仕様、価格等は製品改良の為、
予告なく変更する場合があります。予めご了承下さい。

株式会社モリワキエンジニアリング
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5
Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152
WEBSITE　https://www.moriwaki.co.jp